

【飲酒ドライバーを発見・追跡して通報し検挙につながった事例】

ある日の午後、私は、仕事先に向かうため、国道3号を運転しておりました。

赤信号で停車し、何気なしに横の車線に目を移したところ、隣の車の運転席にいる女性が缶酎ハイらしきものを飲んでいるように見えました。

気になってもう一度見たところ、確かに缶酎ハイであることが確認できましたので、信号停車中に直ぐに警察に電話しました。

私は、そのまま、その車の後をつけました。チャンスがあれば降りていってその車を止めようと思っていましたが、しばらくしてパトカーが現れ、その車を止めましたので、私は一旦やり過ごした後、再び車が止められている場所に戻り、警察官に事情を説明しました。

飲酒運転の事故がいつもニュースであっているのを見ますが、

事故で人をはねたら大変なことは分かっているはず。飲酒運転をする人は、あまりにも自覚がなさ過ぎる。

と強く感じます。

自分自身、やっとゴールド免許となった身ですが、携帯電話をかけながら運転しているような人を見ると嫌ですし、ましてや、飲酒運転など許せないといつも考えています。

勇気を出して、みんなで通報することがとても大切だと思います。